

今年度の活動と現況

平成28年11月3日
十勝川中流部市民協働会議

平成28年度 十勝川中流部市民協働会議の主な活動場所と趣旨

十勝大橋 上流左岸

・掘削跡地に在来草地を復元し河道の阻害となる樹林化を防止する。

(工事継続中、
草地復元継続中)

相生中島 上流湿地

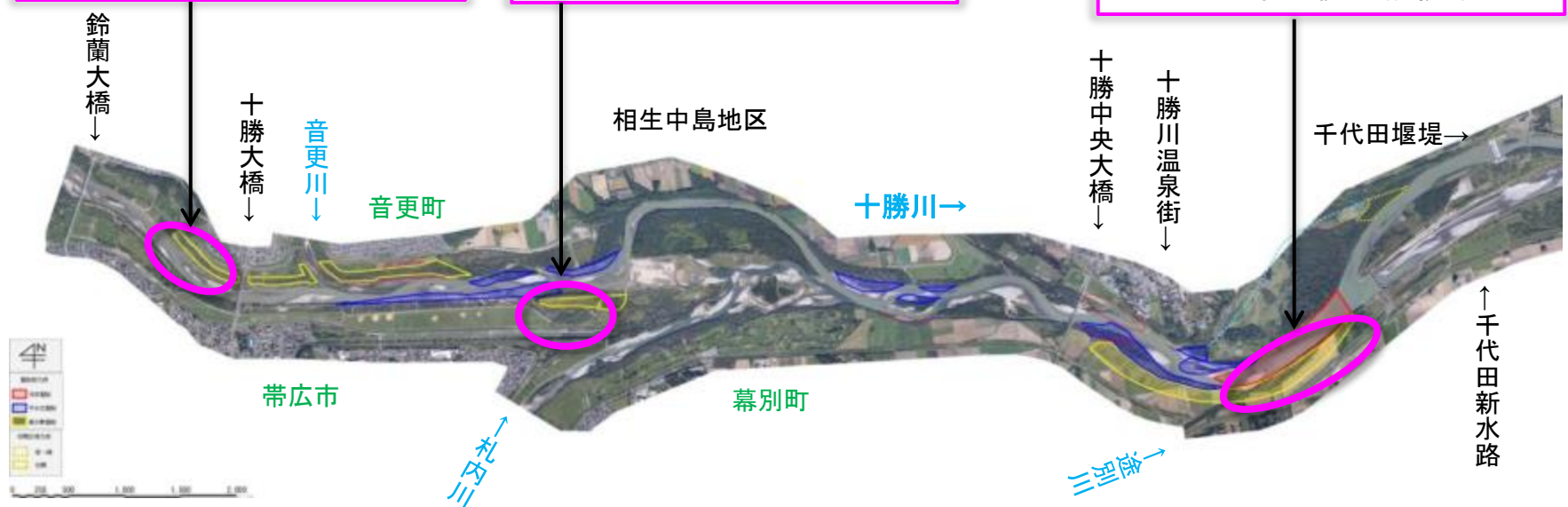
・掘削跡地を湿地化し河道の阻害となる樹林化を防止する。

(工事完了、
湿地環境形成中)

途別川 合流点

・掘削跡地に在来草地を復元し河道の阻害となる樹林化を防止する。

(工事継続中、
草地復元継続中)



上記の趣旨にもとづき より良い川づくり目指し 学・官・民一体となって活動

平成28年度（4月～7月）活動内容一覧

No	日程	内容	場所	参加
1	H28.4.19	・第29回事務局会議(新事務局員紹介、今年度の活動予定)	・十勝川インフォメーションセンター	・事務局:20名 ・開発局:6名 ・帯広農業高校:2名 合計28名
2	H28.6.9	・帯広工業高校2年生 野草移植 (雨の為中止、移植植物と移植先植生についての講習)	・富士築堤→幕別町相川原生花園	・事務局:6名 ・帯広工業高校2年生:37名 ・西岡建設(協力):3名 合計46名
3	H28.6.14	・帯広工業高校1年生 測量 ダム放流前 札内川懇談会サポート	・札内川 中札内橋上流	・事務局:9名 ・帯広工業高校1年生:40名・他:3名 合計52名
4	H28.6.28	・帯広工業高校1年生 測量 ダム放流後 札内川懇談会サポート	・札内川 中札内橋上流	・事務局:9名 ・帯広工業高校1年生:40名・他:3名 合計52名
5	H28.7.1	・植物 移植 (ホザキナナカマド)	・宝来築堤→幕別町相川原生花園	・事務局:5名・西江建設(協力):3名 合計8名
6	H28.7.7	・「たなばタイム 水辺で乾杯 」 ・第30回事務局会議(今後の活動予定)	・札内川親水公園→十勝川インフォメーションセンター	・事務局:11名 合計11名
7	H28.7.11	・帯広工業高校3年生 防災授業	・帯広工業高校	・事務局:3名 ・帯広工業高校3年生:40名 ・帯広開発局:1名 ・帯広建設管理部:1名 ・帯広市:1名 合計46名
8	H28.7.11	・帯広農業高校 夏季 魚類調査 サポート	・相生中島上流湿地	・事務局:8名 ・帯広農業高校生:27名 ・北開水工コンサルタント:8名 ・開発局:2名 合計45名
9	H28.7.26	・植物仮 移植 (6月9日にできなかった分)	・富士築堤→十勝大橋上流左岸	・事務局:5名 ・西岡建設(協力):3名 合計8名

平成27年度（8月～10月）活動内容一覧

No	日程	内容	場所	参加
10	H28.8.5	・西21新興町内会 防災訓練	・西十号会館	・事務局:4名 ・町内会:22名 ・伊豆倉組:4名 ・帯広開発局:1名 ・帯広建設管理部:1名 ・帯広市:1名 合計33名
11	H28.8.7	・ 伝馬船 レースサポート	・札内川 親水公園 ・帯広川 銀輪橋	・事務局:17 参加者合計94名
12	H28.8.29	・第31回事務局会議(活動報告と予定)	・十勝川インフォメーションセンター	・事務局:16名 ・開発局:1名 合計17名
13	H28.9.5	・帯広工業高校3年生 途別川 イメージ 図作成	・途別川 千住橋 → 帯広工業高校	・事務局:8名 ・帯広工業高校3年生:40名 ・他:2名 合計50名
14	H28.9.10 9.11	・「第9回 いい川・いい川づくりワーク ショップ in 備中高梁」	・岡山県 高梁市	・事務局:2名
15	H28.9.15	・帯広工業高校2年生 原生花園 測量	・幕別町相川原生花園	・事務局:9名 ・帯広工業高校3年生:40名 ・他:1名 合計50名
16	H28.9.29	・相生中島 道路整備	・相生中島右岸上流湿地	・事務局:4名 ・多自然ネット:3名 合計7名
17	H28.9.29	・第32回事務局会議(被災箇所説明、 活動報告、今後の活動)	・十勝川インフォメーションセンター	・事務局:19名 ・開発局:5名 ・帯広農業高校:1名 合計25名

2016. 6. 9 途別原生花園植物の移植（雨の為植物学習に変更）

（帯広工業高校2年生37名、事務局他9名）

- 札内川富士築堤の工事で消失する植物と途別原生花園に生育する植物について講習した。

富士築堤



植物の説明状況



堤外に植生するアヤメやカラフトイバラ



アヤメ



カラフトイバラ
（準絶滅危惧種）

途別原生花園



植物の説明状況



昨年移植したアヤメやエゾスカシユリ



アヤメ



エゾスカシユリ

2016. 6. 14 札内川懇談会自然再生モニタリング サポート

(帯広工業高校1年生40名、事務局他12名)

- 札内川自然再生のモニタリング（中札内橋上流におけるダム放流前後の河道の変化、植生の変化について調べる）のための測量と植生調査をサポートした。



25mごと5測点について測量調査



横断測量状況



植物方形区調査状況



ダム放流前

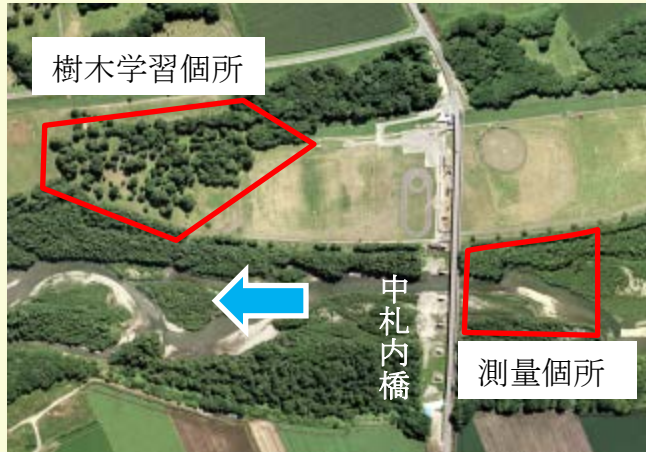


活動箇所全景(中札内橋より上流を望む)

2016. 6. 28 札内川懇談会自然再生モニタリング サポート

(帯広工業高校1年生40名、事務局他12名)

- 6月14日に続き測量と調査を行ったが予定されていたダム放流は中止となり、またこの日は増水のため河道の測量と植物調査はできなかった。測量は高水敷のみ行い河道については後日行うとし、植物については三番川沿いに生育する樹木について学習した。



測量及び樹木学習箇所



活動箇所全景(中札内橋より上流を望む)



高水敷の横断測量



スラントと巻き尺で樹高の計測



樹木の葉を採取

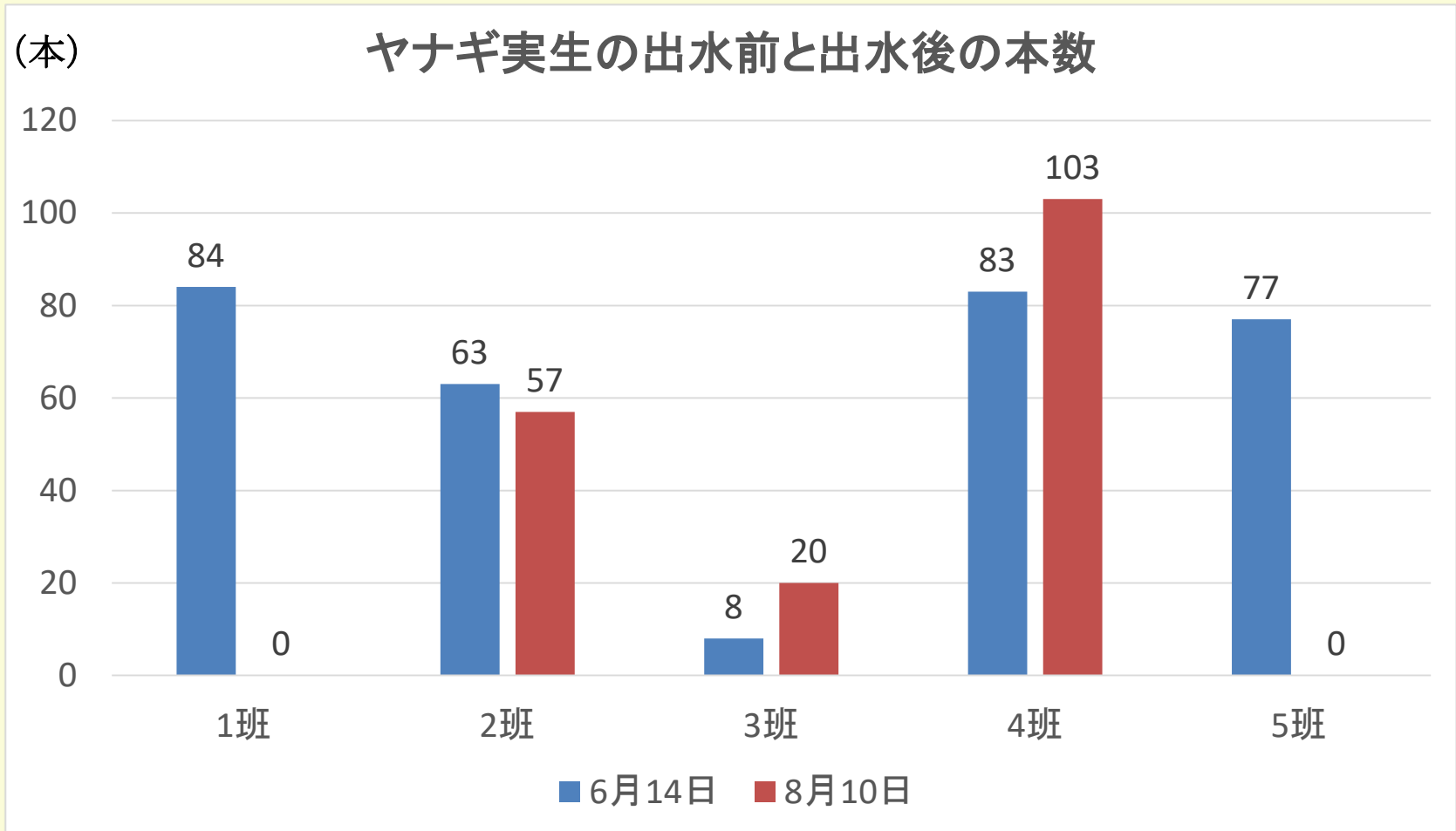


採取した葉を基に樹木の説明

2016. 6. 28 札内川懇談会自然再生モニタリング サポート

(帯広工業高校1年生40名、事務局他12名)

- 8月10日に事務局員による測量調査を行った。増水により河道が変わり1班と5班については河床の洗掘や土砂堆積によりヤナギの実生が確認できなかった。



2016. 7. 1 相川原生花園 植物移植

(事務局他8名)

- 音更川左岸の宝来築堤より工事により消失する植物を、西江建設の協力を得て相川原生花園へ移植（ホザキシモツケ）した。

①宝来築堤で工事により消失する植物を採取



相川原生花園の移植箇所



②相川原生花園へ移植



2016. 7. 7 たなばタイム

(事務局11名)

- 『7月7日午後7時7分、1万人がタナバタイムに乾杯すれば日本の水辺はちょっといい感じ！』ミズベリングの全国規模の実験として行われたもので、全国一斉に7月7日の午後7時7分に水辺でドリンクを飲むイベントがあり、今年もこのイベントに参加しました。



札内川・帯広川合流点の親水公園にて水辺で乾杯！



水辺で乾杯終了後インフォメーションセンターに戻り、第30回事務局会議開催。

2016. 7. 11 帯広工業高校3年生 防災授業

(帯広工業高校3年生40名、事務局他6名)

- 帯広工業高校で地域防災活動として講師を招き防災授業を行った。



十勝川中流部市民協働会議：
システム利用のポイント

1. 日頃から避難場所と予想浸水深を確認する。
2. 雨が強くなって来たら水位観測所の水位に注意する。
3. 今後の雨雲や豪雨レーダーの推移に注意する。



授業風景



帯広開発建設部治水課：

災害時の3助について

1. 自助-自分を助け共助可能な状態を保つ
2. 共助-2次災害に注意し互いに助け合う
3. 公助-頼り切らない



帯広建設管理部治水課：

土砂災害3つのポイント

1. 住んでいる場所が「土砂災害危険箇所」かどうか確認する
2. 雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意する
3. 土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難する



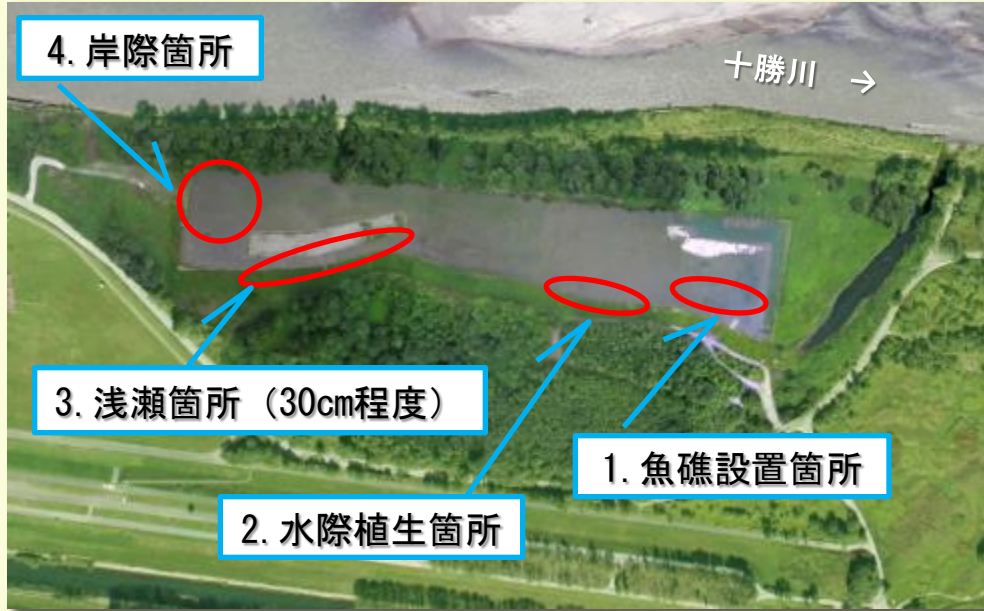
帯広市役所総務課：

「公助には限界があるので、自助・共助により災害に対応できるよう準備するのが大切です。」

2016. 7. 11 帯広農業高校による夏季魚類調査サポート

(帯広農業高校生27名、事務局他18名)

- 北開水工コンサルタントの指導の下、生徒・開発局職員・事務局員が3班に分かれ4箇所の調査を行なった。



調査箇所 4箇所をそれぞれ3班で調査

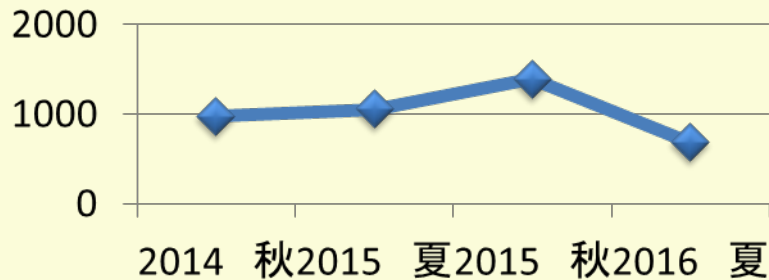


採取状況

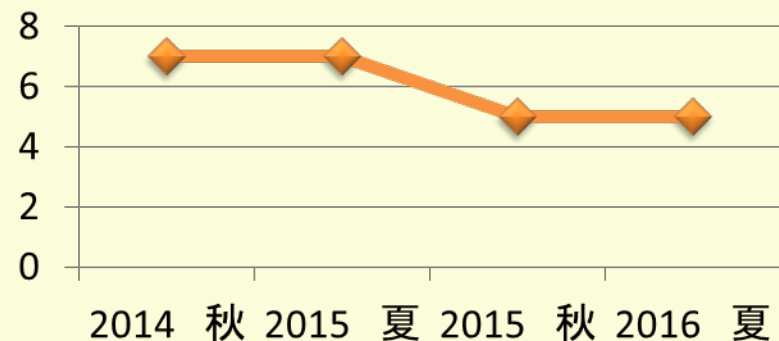


同定作業状況

個体数



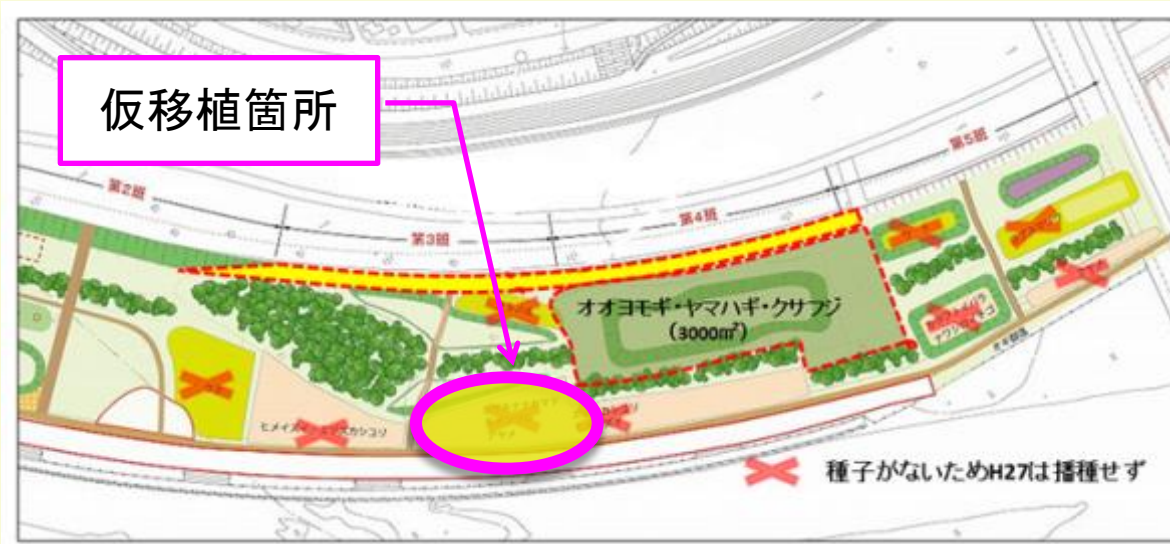
魚種数



2016. 7. 26 草地復元 植物仮移植

(事務局他8名)

- 6月9日の工業高校2年生による植物の移植が雨で中止になったため、西岡建設の協力を得て札内川富士築堤から十勝大橋上流左岸へ植物（アヤメ）の仮移植を行った。
(8月の増水後も流れずに残っているのを確認)



十勝大橋上流左岸の仮移植箇所



①富士築堤で工事により消失するアヤメを採取



②十勝大橋上流左岸へ仮移植



2016. 8. 5 町内会 防災訓練サポート

(西21新興町内会22名、事務局他11名)

- 西21新興町内会の防災訓練をサポートした。訓練の際 支援者救出に伊豆倉組、訓練終了後に帯広開発建設部治水課・帯広建設管理部治水課・帯広市役所総務課から講評を頂いた。
帯広川が氾濫する想定の下に防災メール受信から全員が集合するところまで訓練。最後に今後の対応について話し合った。



①防災メール受信、集合連絡 (15:00)



②集合確認 (15:10)



③要支援者救出 (15:25)



④今後の対応等について (15:35)

訓練終了後の自治体の方々による講評



帯広開発建設治水課



帯広建設管理部治水課



帯広市役所総務課

2016. 8. 7 伝馬船レース大会in帯広の参加及びサポート

(参加者94名、内事務局17名)

- 帯広NP028サポートセンター主催の伝馬船レースへ参加し運営等のサポートをした。

午前の部：札内川・帯広川合流点の親水公園



伝馬船



スタート地点(ゴールまで約70m)



3位までの入賞者

午後の部：帯広川の銀輪橋上流



スタート地点(ゴールまで約300m)



ゴール地点



終了後の記念写真

2016. 9. 5 途別川かわづくり

(帯広工業高校3生40名、事務局他10名)

- 途別川の河川整備計画に伴う河川計画への利用を目的に、現地見学を行い河川イメージを作成した。

- 洪水による災害の発生の防止のため、主に河道の掘削により流下能力の確保が必要。時期は十勝川の河道掘削完了後から(H33～)
 - ・掘削敷高は平均河床高程度とし既設構造物を活かすため極力現高水敷を活かす。
 - ・工事道路用に10mを確保する



● 午前：オリエンテーション



現地見学の前に、途別川の多自然川づくりと生物について説明

● 午後：現地見学



作業前説明の後、「わか自然の会」岡田氏と「サムライプロデュース」西脇氏より挨拶

● 午後：現地見学

事務局員による説明を受けながら班ごとに途別川を見学し川のイメージづくりを行った



・イメージ作成にあたって構造上の制限事項

1. 堤防の幅は変わらない。
2. 河床の高さは変わらない。
3. 橋のような構造物は作らない。
4. 建物は作らない。

・幕別町の要望

1. 全線をカヌーやボートで下れる。
2. ルアーやフライなどの釣りができる。
3. 自転車で周遊できる。

● 午後：イメージ図作成

現地でイメージしたものを一人ずつ描いて発表。その後5班に別れ各班ごとに1枚の取りまとめた図を作成し発表した。



2016. 9. 10~11

「第9回 いい川・いい川づくりワークショップ in 備中高梁

(事務局2名)

- 今年は岡山県高梁市で開催されました。グランプリは取れませんでしたけれども事務局長の奮闘で入賞を果しました。



予選：全国から42組の出場



本選：上位10組に選ばれ本選出場

発表用パネル

発表用パワーポイント

賞状

2016. 9. 15 途別原生花園測量及び植物生育調査

(帯広工業高校2年生40名、事務局他12名)

- 台風10号による洪水後の現況を把握するため、堆積物の調査測量と植物の生育を調査した。



6月



堆積物 (礫)



6月



堆積物 (砂・シルト)



調査測量箇所



● 午前：堆積物の調査測量

洪水後の堆積物により土壌がどのように変化しているかを調査測量した



法線測量 (215m)



法線直角打ち出し (25m毎)



堆積物調査



堆積物調査 (試掘)

● 午後：植物の生育調査

洪水後に播種した植物がどの位成長したか、残っている植物を調べた



植物生育調査



ヤナギ生育長計測



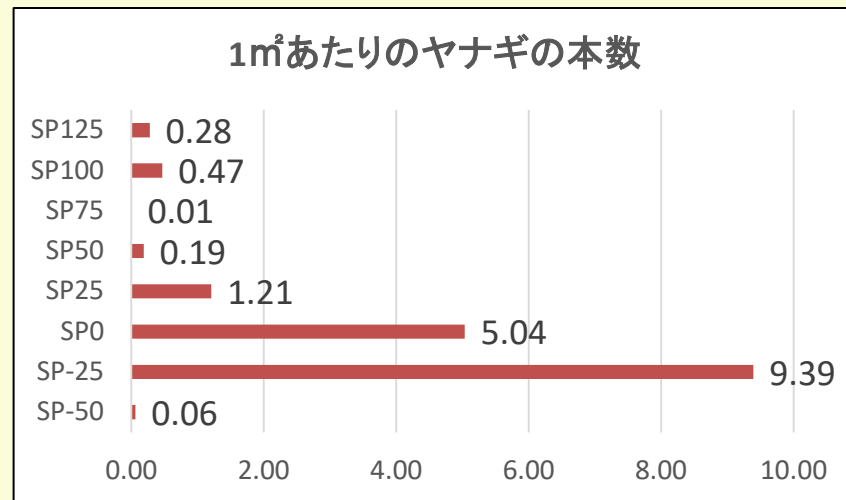
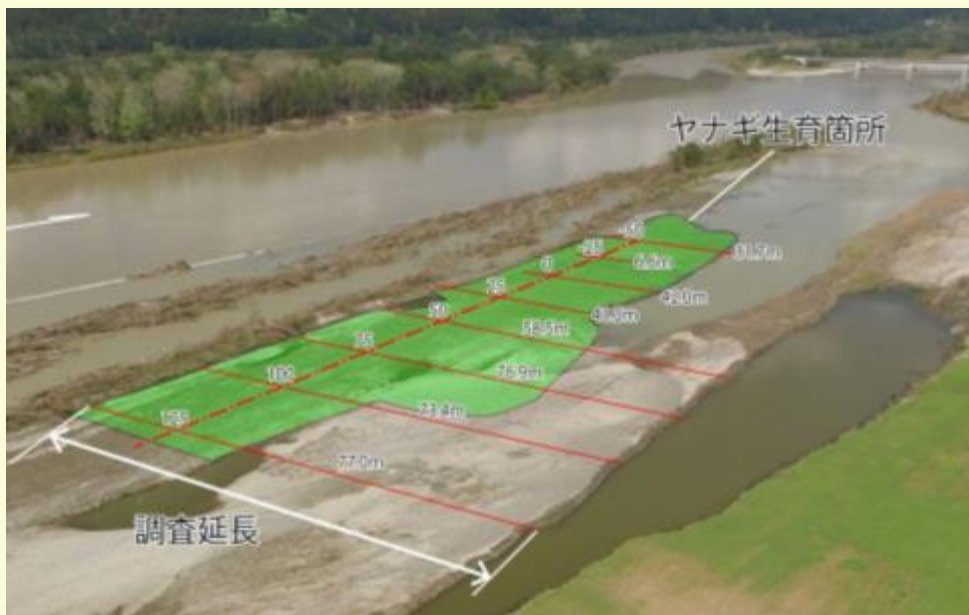
植物生育調査



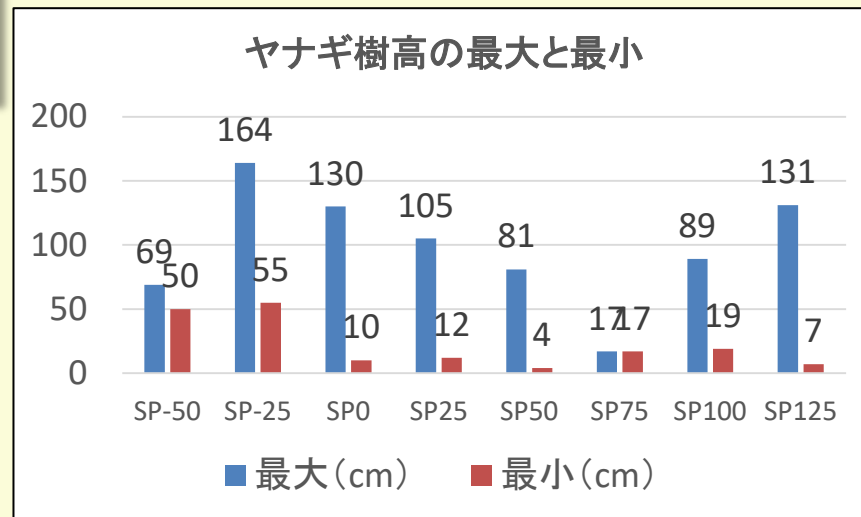
ヤナギ生育長計測

● 測量調査の結果

- ・ H28年8月の台風の影響により現況が流出した。河畔林の消失や原生花園の河床の洗掘により多数の水域が形成されていることが空撮を見るとよくわかる。
- ・ 以前はほぼすべてが砂利であったが、今回の調査により主に砂が堆積していることがわかった。ヤナギ調査では下流では実生が多く、上流は少し少ない調査結果となった。



堆積物がどの位あるか計測したところ、浅い所で12cmから深い所で68cmあった。



2016. 9. 29～30 相生中島道路整備

(事務局4名、多自然ネット4名)

- 台風10号による増水で湿地へのアクセスが困難になった為、多自然ネットの協力を得て道路の復旧を行った。倒れたヤナギなどの撤去し浸食された箇所や泥が堆積した箇所などを修復した。



倒れたヤナギの除去



道路整地



道路整地



道路復旧完了



道路復旧完了

新聞報道 2 「防 災」

自主防災組織で地域の安全を



加賀屋誠一 北谷分館長
 中高生の力発揮に期待

十勝川中流部市民協働会議は、今年度の活動として、自主防災組織の強化を図る。帯広市立中高等学校の生徒らと協働し、地域の安全を確保する。加賀屋誠一、北谷分館長は、中高生の力を発揮させることに期待している。

加賀屋分館長は、中高生の力を発揮させることに期待している。中高生は、地域の安全を確保するために、自主防災組織の強化を図る。中高生は、地域の安全を確保するために、自主防災組織の強化を図る。

自分の判断で避難を

「浸水はある」の認識大切



現状の治水「ゲリラ」に対応できず

「浸水はある」の認識大切。現状の治水「ゲリラ」に対応できず。洪水は、ゲリラ的な豪雨によって発生し、予測が難しい。住民は、自分の判断で避難する必要がある。洪水は、ゲリラ的な豪雨によって発生し、予測が難しい。住民は、自分の判断で避難する必要がある。

水位上昇メールで警告



サービス開始

危険度通知、ゲリラ豪雨に即対応。水位上昇メールで警告。サービス開始。危険度通知、ゲリラ豪雨に即対応。水位上昇メールで警告。サービス開始。

洪水の危険性をメールで

十勝川中流部市民協働会議は、6日から、水害に対する防災活動として、洪水警報のメールサービスを開始した。十勝川水系の河川の水位観測所を基準とする水位を、メールで知らせる。メールで知らせる。メールで知らせる。

迅速な避難に向けて

メールサービスは、市民が自主的な避難行動を促す。迅速な避難に向けて。メールサービスは、市民が自主的な避難行動を促す。迅速な避難に向けて。メールサービスは、市民が自主的な避難行動を促す。

十勝川の水位上昇→即メール

豪雨対策、市民団体が防災システム



豪雨対策、市民団体が防災システム。十勝川水系の河川の水位観測所を基準とする水位を、メールで知らせる。豪雨対策、市民団体が防災システム。十勝川水系の河川の水位観測所を基準とする水位を、メールで知らせる。

十勝川水系地域防災システム 避難時など幅広い活用を

アークコオペレーションが開発



アークコオペレーションが開発。十勝川水系地域防災システム。避難時など幅広い活用を。アークコオペレーションが開発。十勝川水系地域防災システム。避難時など幅広い活用を。

帯広川伏古地区子どもの水辺協等

避難時間や経路を確認



避難時間や経路を確認。帯広川伏古地区子どもの水辺協等。避難時間や経路を確認。帯広川伏古地区子どもの水辺協等。

水害避難援助の手順確認

西21新興町内会 帯広川の増水想定



水害避難援助の手順確認。西21新興町内会 帯広川の増水想定。水害避難援助の手順確認。西21新興町内会 帯広川の増水想定。

浸水被害を事前察知

地域防災システム開発

浸水被害を事前察知。地域防災システム開発。浸水被害を事前察知。地域防災システム開発。

十勝川水系地域防災システム。避難時など幅広い活用を。アークコオペレーションが開発。十勝川水系地域防災システム。避難時など幅広い活用を。アークコオペレーションが開発。

